プレスリリース 2022年1月25日

The Japan Observatory at Milano Unica 2023SS

■ 第34回Milano Unica

□ 開催期間：2022年2月1日（火）～2日（水）

□ 会場： Rho Fieramilano （Hall.12、16、20）

□ 主催： Milano Unica Secretariat

□ 出展者数：344社+JOB12社、KOB5社=計361社（12/9現在）

■ The Japan Observatory at MU 2023SS

□会場：Rho Fieramilano Hall.12（予定）

□出展者数：10社1グループ+JOB Plus出品企業12社 □ 展開面積：242㎡

□主催：一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構／独立行政法人日本貿易振興機構

□後援：経済産業省、日本繊維産業連盟

<MUに日本企業が出展>

2月1日から2日間、イタリア・ミラノのロー・フィエラミラノで、「第34回Milano Unica」が開催されます。日本からは日本ファッション・ウィーク推進機構（JFW）、日本貿易振興機構（JETRO）主催の「The Japan Observatory」（JOB）at Milano Unica 2023SSが出展する予定です。

JOBは2020年2月の出展以降、世界的な新型コロナウイルス感染拡大で、リアル展での出展を3回見合わせました。この間、E-Milano Unica Connectを通じてのデジタル活用をしてまいりましたが、やはりバ

イヤーが実際に素材を見て確かめることのできる機会と場所の確保することは必要と考えてきました。

感染状況は依然として芳しくありませんが、出展履歴企業の出展意欲は高く、今回は10社+1グループが出展します。また、JOB Plusのブース（12社）を新たに設置し、中小企業を対象に人材を派遣できない企業にも商談の機会を提供します。

世界の著名ブランドのバイヤーが集まるMU。そこに出展する日本企業を事前に紹介いたします。

川越政株式会社	
シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアム	TANGO OPEN （宮眞株式会社/田勇機業株式会社）
	創作工房糸あそび
	民谷撚糸株式会社
	株式会社もりさん
ジャパンデニム	坂本デニム株式会社
	山陽染工株式会社
	篠原テキスタイル株式会社
スタイレム瀧定大阪株式会社	
瀧定名古屋株式会社	
豊島株式会社	

●スタイレム瀧定大阪/多様なサステイナブル素材

スタイレム瀧定大阪のJOB出展は12回目です。イタリアに現地法人があり、ミラノには代理店もありますので、新型コロナウイルス感染で渡航できなくても対応可能な体制です。「欧州市場は大きく大切な市場。このため、ミラノとパリに拠点を設けている。2020 年にはミラノにショールームも設けた」と積極的に取り組んでいます。同社の強みは、商品やカラーのバリエーションの豊富さとともに、小ロットへの対応です。今回の出品素材にはオーガニックコットンがありますが、「インドやトルコなどのコットンを使用し、オーガニックコットン 100%ものから混紡ものまでいろんな形で提供できる」ことに優位性があります。 リサイクルナイロンやリサイクルポリエステルも糸軸として用意しました。「こうした素材はタフタのような織り方で提供することが多いが、様々な織り方によって提案する。また、素材も複合化することで生地の幅だしをして準備」しています。

キュプラ、アセテートなどのサステイナブル素材を出品するほか、環境に配慮した加工なども提案する予定。同社のブースを訪れることで、サステイナブル素材を幅広く見ることができそうです。

●シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアム/京都の伝統技術を披露

シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアムは、京都府の伝統産業である西陣、丹後、友禅の3産地の連携を強化する事業で、今回5社がJOBに出展します。西陣のMORISANは、「NISHIJINORI-KINRAN」シリーズを提案。その一つのJAPANBLUEは青いスリットヤーンを織り込んだ柄で立体感を表現したテキスタイルです。同社の強みは短期間でオリジナル柄を織り上げる技術です。素材開発力に優れる宮眞は立体的な表面感のあるシルク強撚糸織物、エコ素材として注目されているシルク和紙織物などを提案します。

「欧州は魅力的な市場」という創作工房糸あそびは、意匠糸使いが得意です。今回は経緯に4mmテープを使用したシルクリボン織生地、間伐材（再生繊維）を利用してシルクと組み合わせて織った生地などを出品します。田勇機業は丹後ちりめんで培った撚糸・製織技術を展開。「綾朱子意匠」（千鳥格子）はシルク100%で、強撚糸を緯糸に使って風合いを出します。「紋意匠」（Newspaper）は新聞をモチーフにしたジャカード織物です。TAMIYA RADENは着物の帯で培った技術を駆使します。「RADEN TEXTILE」はMother of pearlを糸にして織り込んだ生地。「LEATRHER TEXTILE」はレザーを糸にして織ったもの。和紙に漆を塗って糸にしたものもあります。

●ジャパンデニム/環境に配慮したデニムを

広島県からジャパンデニムとして3社が出展します。坂本デニムは、独自開発の電解水と常温水で染めるシステムによってCO2排出を削減し、洗浄薬剤ゼロという環境への負荷を低減しました。今回はこのエコ染色で染めたデニムを出品します。また、天然藍やオーガニックコットン使いのデニム、リーズナブルな価格帯の定番規格デニム生地なども準備しています。

「欧米に当社の加工技術を知ってもらいたい」という山陽染工は段落ち抜染加工、DUSTY加工、BIGGIE加工などを紹介。「日本で当社しかできない加工もある。テキスタイルとして製造から販売まで一貫して行う」のが強みです。3回目の出展ですが、「認知度向上とともに、トレンドや情報なども入手したい」と話していました。

篠原テキスタイルも会社で使うエネルギーを再生エネルギーに転換、他の設備にも省エネ投資を行うなど、環境対

策を積極的に進めています。今回の出品する「TP9106」はエコ染色によるテンセルデニムです。「PE9-SOLO」は原着リサイクルペットで作ったデニム調ツイルです。紡績段階で数色をブレンドすることでメランジを表現し、抗ピリング性、摩擦堅牢度にも優れています。

（写真：山陽染工の段落ち抜染加工）

●川越政/独創的な企画力で

「欧州は未開拓な所も多く、成長の伸び代と考えている」。川越政はロンドンに駐在員事務所を置いて欧州市場を開拓しています。JOB への参加は今回が初めてです。

同社は日本の様々な産地や中国で生産した商品を在庫しています。合繊、天然系のニットや布帛を販売しています。また、常に新商品開発にも注力しており、多岐にわたる提案が可能です。大手の生地商にない独創的な生地企画力を強みとしています。ジャンルも紳士、婦人、帽子、資材など幅広く展開しています。輸出業務に関しても、専属の担当者を置いて世界各国に輸出実績があります。

今回は再生糸を使ったエコなナイロン素材を出品。洋服だけでなく、カバンなどにも利用できる素材感に仕上げています。ナイロンの特殊製品染加工は、難易度の高い後加工です。オリジナルの生機を加工し、色落ちしたような独特のフェード感を表現しました。

ウールとリネンを使った洗える日本製素材は、日本でもヒットしている生地です。リネンに一工夫を加えることで、高級感のある仕上がりになりました。

（写真：ウール/リネン）

●豊島/サステイナブルを訴求

豊島の JOB 出展は 3 回目です。「テキスタイル輸出に力を入れており、欧州市場は最重要市場」と位置付けています。同社は原綿からテキスタイルまでのコンバーティング力を有し、オリジナル生地開発を行うメーカーの顔に加えて、産地品を欧米既存顧客に販売する商社機能も提供してきました。

今回は廃棄生地や製品をアップサイクルして循環型経済に貢献する「リフィブラ」を使用したニットジャカードを出品します。また、経糸に綿麻、緯糸にテンセル A100 を使用し、カジュアルときれいめをミックスした織物も提

案します。緯のテンセルにクリンプ加工を施すことで、ポリウレタンを使用しない、軽量で半永久的なナチュラルストレッチを持たせました。さらに遠州地方特有の強風と日光をたっぷりと浴びせて仕上げる天日干し加工を施しました。独特なドライタッチ風合いと自然乾燥ならではのシワ感、そして通常より25～50%少ない水で行われるサステイナブルな染色加工が特徴です。

テンセルのラグジュアリーライン「TENCEL LUXE」を使用したカール・マイヤーも打ち出します。エコ・サスティナブル素材でありながらも高級感のある風合いと軽量感が特徴です。

●瀧定名古屋/市場に合わせた提案力

瀧定名古屋はJOBに12回目の出展となります。「欧州と米国では市場に違いがあるが、共通するのは企業規模を問わず、環境配慮型素材が求められていること」と語っていました。今回も「現地バイヤーの声を聴くことで、現地情報をアップデートし、商品開発にフィードバックしていく」考えです。

今回出品する「1060140」は、非常に細かい通気孔でリップストップの織柄を表現しました。撥水、防シワ、ストレッチ機能も備えています。「14-5336」は強撚のトリアセテート複合糸を使ってさらっとした肌ざわりが心地いいダンボール素材。膨らみを感じるスポンジーな風合いとしなやかなハリ感がシルエットと美しく表現します。

「81-41069」は特殊な後加工で天然素材のような質感が特徴のリサイクルポリエステルを使用。軽量で着心地のいいストレッチ性と速乾性に優れており、仕立て映えのするサステイナブル素材です。

同社は市場に合わせたオリジナル素材を開発しています。日本市場向けに企画した商品を欧州向けに編集した商品と組み合わせたハイブリット提案も行います。豊富なストックオペレーション機能も同社の強みです。

●JOB Plus（12社）

北高株式会社	プリント地、独自の染色素材、オーガニック素材やメンズ向けの素材を紹介します。
株式会社前田源商店	高品質なオーガニックコットン素材、カラー・オーガニックコットン、天然の草木染めによる糸で織り上げたプレーン地やジャカード等。
畑岡株式会社／株式会社足羽工業所	高機能性を有する'HERITAGE'製品群（アセテートと新開発の機能PEとの交織）をアピール。
中伝毛織株式会社	ウール、合繊織物、ニット素材のトップメーカー。幅広い販路に向けての素材作りが可能。
滋賀麻工業株式会社	天然繊維の糸、キュプラ、和紙糸等を使用したオリジナル企画のテキスタイルを披露します。
朝日染色株式会社 ソレヴァンテ1918	デジタルプリントが主流になる中、ハンドプリントならではの色柄の深み、及びハンドクラフト感をアピールします。
カネタ織物株式会社	全製品を自社製造。主に強撚糸を使用した高密度のテキスタイルを製造しています。
渡縫織物株式会社	シルク、シルク混、コットンやウール等、高品質な先染め素材を幅広く展開しています。
株式会社サンウェル	日本の職人技による豊富なトレンド素材を自社ストックにより迅速に提供します。
古橋織布有限会社	シャトル織機を使い主に天然素材（コットン、リネン、ウール等）のこだわったものづくりをしており、主に高密度・平織素材を得意としています。
株式会社大長	伝統技法と最新の加工方法を融合させ素材に革新をもたらします。'新塩縮''近江晒'（特殊晒し加工）、'表面変化'等。
カネマサ莫大小株式会社	ハイゲージ・ニット機(36G-46G)を使用したカネマサ品質の素材群。シャツ、スーツ向けのハイゲージ・ウールを紹介します。

■JFW テキスタイルビュー（ジャパンテキスタイルトレンド）

◇ 2023 S/S 概観：＜自分らしくある資質と価値観＞

世界情勢が様変わりしていく昨今、現代という激動の時代を強く生き抜くための資質とは。この困難な状況を乗り越えるためには柔軟性や直感力、思い切りの良さが必要不可欠な要素です。これから先は人間らしさという価値観を大切にし、一人一人が自分らしくあるほどに社会はより良くなってくるでしょう。そしてその価値観は時代につれて変わっていくことでしょう。自己と社会は互いに高め合う関係性にあると思います。前を向いて生きる人は美しい。

◇ 全体的カラー：

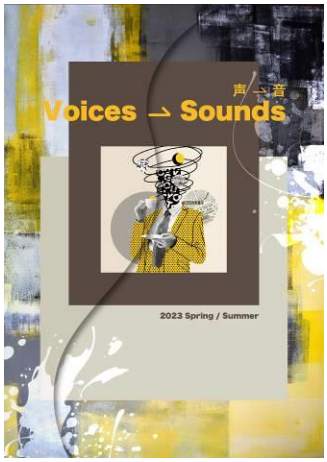
時代が自然を求める中、色調は明るく色褪せない色、それぞれの色バランスを考えて循環するカラーに。色を変化させてそれぞれの色らしさを生かすカラーで展開します。

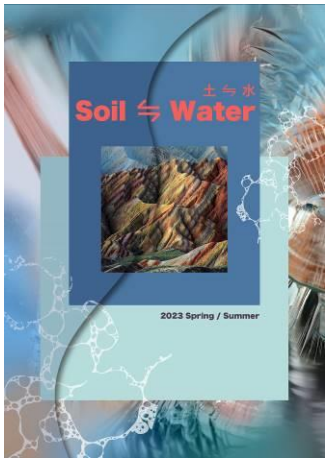
◇2023 Spring / Summer

声→音　　- Voices → Sounds —

におい→香り　－ Smell → Scent －

土 ⇋水　　－ Soil ⇋Water －





プレスリリース　2022 年 1 月 2 5 日

■「JFW テキスタイル・オンラインサロン」（JTO）

JFW では、テキスタイルビジネス商談会のツールとして、オンライン展示会を開設しました。日本のテキスタイル・コレクションをオンラインに整理し、国内・海外のバイヤーに紹介します。

対面して行なう実際の商談会に加え、「JFW テキスタイル・オンラインサロン」（JTO）出品者として常時、自社のテキスタイルを発信し、ビジネス契機を高めることができます。国内・海外のバイヤーは、欲しい時に欲しいテキスタイル情報をタイムリーに検索し情報収集が可能になります。

このサイトでは、各企業の素材・企業情報に加え、日本全国の産地情報や、ニュースを掲載した、テキスタイル情報のポータルサイトとして活用できるサイトを目指します。

JFW Textile Online SALON

Https://jfw-textile-online.com/